

農業競争力強化法案は廃案へ

安倍自公政権は、農業者と関連産業に政府が求める競争力強化策への努力を義務付ける「農業競争力強化法案」および関連法案を、今国会で成立させようとしています。政府・財界の狙いは、日本の農業と食料の生産・加工・流通を、多国籍企業を含む営利企業に開放することで

す。
富山和也衆院議員と紙智子参院議員は1日、北農中央会・ホクレンを訪れ、指定生乳団体の乳価交渉力を弱め、酪農家の所得低下につながる「加工原料乳補給金制度」の見直しについて懇談しました。

加工原料乳補給金制度(畜安法)、農村への企業誘致支援(農工法)など
富山衆議と紙参議が北農中央会・ホクレンなどと懇談

価格の高い生乳への部分委託の“いいとこどり”は手取り乳価の公平性を損なう

北農中央会の林亮年酪農畜産課長、指定生乳団体であるホクレンの篠永昭仁生乳共販課長らと意見交換しました。



“無秩序な部分委託や二股出荷は、指定生乳団体が調整弁とされる。「畜産物の需給の安定等を通じた畜産経営の安定」という畜安法の目的を損なう”
“生乳生産は1~2%のブレが10万トンを超える。工場間転送、季節的なバター不足などに苦勞して対応している”と言います。
富山、紙両議員は、「酪農の維持発展にとって、安定した経営環境が重要です」などと応じました。

富山衆議、道議団が道農政部と

農工法～優良農地の転用懸念 ジャガイモシロシストセンチュウ対策も

富山議員は2日、農業地域への企業進出を、対象5業種から全業種に拡大する農工法改正案の影響について、農政部から聞き取りました。

昨年、国内で初めて発生したジャガイモシロシストセンチュウ対策についても聞きました。党道議団は、網走市の生食用ジャガイモ生産農家が損害額を補償されないなどの問題を調査。菊地葉子、佐野弘美両道議が同席しました。

